



↑ HP



↑ X (旧Twitter)



「浜名湖花博2024!」 ついに開幕!

はままつフラワーパーク 3月23日(土)~6月16日(日) ~フラワーパークのリアルな美しい花々を堪能~

「世界一美しい」と称される「桜とチューリップの庭園」や、幻想的なライトアップや色合いが楽しめるフジ、2021年にリニューアルしたローズガーデンのバラなど、期間を通じて多くの花々が訪れる人を魅了します。また、著名なガーデンデザイナー監修により3つの庭園が誕生。リアルな美しい花々を今までと違った新しい視点でも堪能いただけます。

浜名湖ガーデンパーク 4月6日(土)~6月2日(日)

~日本のガーデンシーンをリードするGardenerたちが創る「令しき花緑の世界。」~
緑の魔術師と称される石原和幸氏監修の庭園や、12のテーマに沿って、さまざまなバラと特色ある植物とのコラボレーションが楽しめる「新感性ローズガーデン×(コラボ)R(ローズ)」など11個の新たな庭園が誕生します。また、まるで絵画の中にいるような、約1,600種もの花々に囲まれた色彩豊かな印象派庭園 花美の庭は見どころ満載です。

もっと楽しむ 浜名湖花博2024 GUIDE BOOK

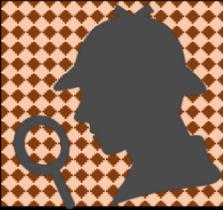


花博の魅力をもとめた花博2024のガイドブックが完成しました。会場の見どころ、イベントやグルメ情報、花の見頃情報まで網羅した1冊です。ぜひ一度ご覧ください!



©2021浜名湖ガーデンパーク

冊子はこちらから



追跡! ふじのくに関西探偵団! 第1回 東海道五十七次 枚方宿~高麗橋



東海道五十七次とは?

品川宿から大津宿までの「東海道五十三次」に、京都から大坂までの4つの宿駅(伏見、淀、枚方、守口)を加えたルートは「東海道五十七次」と呼ばれ、幹線道路として発展しました。また京都・大坂間は淀川に沿って整備されたことから、水運も重要な役目を果たし大坂の経済を支えました。東海道に延長された京街道は、淀川沿いにあたります。豊臣秀吉が居城をつくった大坂と伏見を最短で行き来するために淀川の堤防を改修した「文禄堤」の堤防道が京街道と呼ばれるようになりました。

① 枚方宿ではくわんか舟が活躍

東海道56次目である枚方宿は、多くの旅館や茶屋、さまざまな商人や職人が集まり活気にあふれた宿でした。三十石船の中継港としても栄え、乗客に向けて飲食物を販売する小舟が盛んに往来しました。この小舟は、物売りたちの「酒くわんか、めしくわんか」という客への呼びかけから「くわんか舟」と呼ばれました。

② 守口宿には文禄堤の遺構

東海道最後の宿駅が守口宿です。淀川の改修工事などで分断され、姿を消した文禄堤の一部が今も守口市本町付近に残り、当時の面影を偲ぶことができます。

③ 八軒家浜を経て高麗橋へ

守口からいよいよ大坂へ入り、高麗橋にたどり着くまでに経由したのが八軒家浜です。8軒の旅館(あるいは家)があったことがその名の由来ともされています。東海道の終点である高麗橋は、幕府が工事費を負担した重要な公儀橋でした。大坂城と商人の町をつなぐ橋でもあり、商人が住む西側は米問屋、呉服商、両替商など多くの店が並びました。高麗とは古代に朝鮮からの使者を迎える迎賓館があったから、または豊臣時代に朝鮮との通商の中心地だったからともいわれます。1870(明治3)年に大阪で初めての鉄橋に架け替えられ、その後、1929(昭和4)年に鉄筋コンクリート製のアーチ橋になり、現在に至ります。



現在の高麗橋の東側

(大阪シティ信用金庫 せんだぎ 2024年1月号 おおさか文化遺産めぐり その192 を加工して作成)

あなたのその気持ち、ふじのくにへ届けませんか? ~静岡県内の自治体へのふるさと納税のご紹介~

第9回 富士山・酪農・絶景!! 函嶺(はこね)の南!! 函南町(かななみちょう)!!

当町自慢の返礼品は
ほかにも多数あります→



自治体紹介



伊豆半島の玄関口、箱根の南に位置し、都心へ約1時間と便利な地理的条件と、富士山の眺めをはじめ、風光明媚、気候温暖で緑豊かな自然環境に恵まれた函南町。原生の森公園や畑毛温泉、かななみ仏の里美術館などおすすめスポットが満載!! 特産品は140年以上の歴史を誇る丹那牛乳を始め、プリンにチーズ、バターなどの乳製品、函南西瓜、トマト、イチゴなどの農産物とラインナップも充実!! 皆様からの大切な寄附金を観光イベントや地域産業の振興、災害対策など7つの用途に活用しています。

おすすめ返礼品



丹那牛乳 乳製品詰合せ

情熱を持ち乳牛を育てる酪農家の美味しい牛乳。「安心・安全・新鮮」をお届けします。

寄附金額5,000円



詳しくはこちら!



南箱根の生はちみつ ギフトセット

非加熱・抗生物質不使用・無農薬・除草剤不使用の安心安全な生はちみつ。採取したままの100%の完熟生はちみつです。

寄附金額15,000円



詳しくはこちら!



函南ゴルフ倶楽部施設利用券

富士山、駿河湾、伊豆連山を一望できる、36ホールを誇る風光明媚な丘陵コースです。

寄附金額50,000円



詳しくはこちら!



オラッチェビール

丹那の恵まれた自然の中で熟練の職人達が美味しさと安全にとことんこだわって作る生ビールです。

寄附金額20,000円



詳しくはこちら!

ふじのくにの誇り ～関西で頑張る静岡県出身者③～

京都 東福寺の開山者

日本で最初に国師と称された禅僧 聖一国師(しょういちこくし)



聖一国師(東福寺)



聖一国師生誕の碑(静岡市柘沢)

聖一国師とは

聖一国師は、建仁2年(1202年)駿河の国、今の静岡市柘沢に生まれ龍千丸と名付けられました。5歳の時、久能山久能寺に預けられ、名前を円爾(えんに)とし修行に励みました。その後、更に禅の修行をする為、長楽寺の榮朝和尚に入門しました。

34歳の時、より深く禅について学びたいという志から、宋に行く事を決意、長崎の平戸から船に乗り10日間かけて宋に渡ります。宋では、杭州万寿寺の無準師範に教えをいただき、修行に励みました。2年ののち印可状が与えられ、その後更に5年修行を続け、ついに帰国の途につきます。円爾は宋の修行時代に優れた文化や技術を学び、禅の教えとともに日本に持ち帰りました。帰国の船旅は大荒れとなりましたが、円爾の前に八幡菩薩が現れお守りくださり、なんとか帰国することができました。仁治2年(1241年)円爾40歳、7年の留学を終え帰国。帰国のち博多に崇福寺、万寿寺、承天寺と三大寺を建立しました。

やがて京の関白藤原道家公のもとに円爾の噂が伝わり、寛元元年(1243年)京に入洛。そこで熱心に禅の教えを説き、道家から聖人中の第一人者との意から聖一和尚という名を授かりました。そしてのち東福寺を開山しました。

寛元2年(1244年)生まれ故郷、駿河の柘沢に一時帰郷、その際、宋から持ち帰った茶種を柘沢の近くの足久保の地にもたらしました。これが静岡のお茶の祖と言われています。

その後も円爾は、鎌倉幕府からの信頼も厚く、京の岡崎尊勝寺、大阪市天王寺、奈良東大寺などの再建にも尽力。僧侶のみならず広く世間一般にまで知れ渡たる事となりました。

弘安3年(1280年)円爾は79歳で入寂(僧侶の死)しました。

死後31年たった応長元年(1311年)花園天皇から日本最初の国師の号を賜り「聖一国師」と呼ばれるようになりました。

聖一国師は、禅の教えだけでなく、宋から持ち帰った数々の文献による文化振興はじめ、先に記したお茶の伝授、水力を用いて製粉する仕組みを伝え、うどん、そば、饅頭などの発展をもたらすなど、今日の私達の生活を豊かにする様々なものをもたらしました。

聖一国師ゆかりの地【静岡】 駿河の国の静かな山里、柘沢(静岡市)で生誕

聖一国師は、建仁2年(1202年)、駿河国の薬科川上流、現在の静岡市柘沢で生まれました。現在、その生家の脇には、米沢家が源頼朝に献上したと伝えられる名馬 駿墨 の碑とともに、国師650年遠忌法要を記念して建立された「聖一神光国師誕生地」と刻まれた生誕の碑があります。龍千丸の名で呼ばれていた国師は、5歳になるまで、静かな柘沢の里で過ごしました。

静岡茶の祖 聖一国師

聖一国師が宋(中国)から帰国後、宋で見たお茶産地の環境が故郷静岡の柘沢に似ていることから、柘沢に立ち寄った際、宋から持ち帰ったお茶の種を柘沢近くの足久保に蒔いたことから、静岡で茶の栽培が始まり今日の一大茶産業へと発展しました。こうしたことから聖一国師は、静岡茶の祖と言われ崇められています。

聖一国師と京都 京に迎えられ京都五山の東福寺を開山

寛元元年(1243年)藤原(九條)道家に迎えられて入京。次いで東福寺開山に仰がれ、同4年(1246年)2月には山内の普門寺を贈られて常住しました。その後、宮中に宗鏡録を進講し、後深草天皇の勅を奉じて、京都岡崎の尊勝寺、大阪四天王寺、奈良東大寺などの大寺院を観閲。更に延暦寺の天台座主慈源や東大寺の円照らを教導したことで、学徳は国中に讃えられ、建長6年(1254年)には幕府執権北条時頼に招かれて、鎌倉の寿福寺に住することとなりました。翌7年6月、一条実経の東福寺落慶供養にあたり帰山、爾来東福寺に住し、弘安3年(1280年)10月17日79歳で入寂(僧侶の死)しました。応長元年(1311年)花園天皇から日本最初の国師の号を賜り「聖一国師」と呼ばれるようになりました。

うどん、そば、羊羹、饅頭の生みの親

円爾(聖一国師)は、宋から帰国後に博多綱首・謝国明の協力を得て承天寺を開山。うどん・そば・羊羹・まんじゅうなどの製法を、日本に伝えました。円爾は宋から「水磨」と言う水車による製粉技術を持ち帰り、うどん・そばの作り方を承天寺から日本に広めました。承天寺はうどん・そば発祥の地とされています。また、謝国明が大晦日、貧しい人々にそばをふるまったことが、年越しそばの始まりと言われています。



三門 国宝(東福寺)



通天橋(東福寺)



本堂(東福寺)

提供：聖一国師顕彰会
(事務局 静岡商工会議所 商工観光課 TEL：054-253-5113)

ふじのくに領事館レポート 私たちはこんなことをしています！

最近の活動実績

令和6年2月2日(金) 関西地区ふじのくに交流会

関西圏で活躍されている本県ゆかりの方々や企業などを対象に、本県の魅力と県政への一層の理解と協力を得ることを目的に、「関西地区ふじのくに交流会」を開催しました。今年度は、第一部として知事による県政報告と、ふじのくに地球環境史ミュージアムの佐藤洋一郎館長によるガストロノミーツーリズムに関する講演を実施しました。続く第二部の交流会では県市町のツーリズム関連団体、県の各部局に加えて、本県と「黄金KAIDO」を構成する新潟・山梨・長野3県大阪事務所が特設ブースを設け、参加者に本県の施策や魅力をPRしました。



令和6年2月6日(木)～3月1日(金) 「富士山の日」紹介展

近畿中国森林管理局森林(もり)のギャラリー(大阪市北区)で開催された「富士山の日」紹介展では、山梨県と協同して富士登山のコース案内ほか、本県及び富士山周辺市町の観光パンフレットなどを配架しました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



静岡県庁広報グランプリで審査員特別賞を受賞！

大幅にリニューアルした「関西ふじのくに通信」が令和5年度静岡県庁広報グランプリで審査員特別賞を受賞しました。いつも、ご愛読いただき、ありがとうございます。

令和6年2月29日(木)、3月1日(金) 本町3県物産展「春のええもん市」

2月29日(木)、3月1日(金)に福井県、高知県の各大阪事務所と連携して開催された春のええもん市では、多くの方に静岡銘茶と御前崎市の海の幸をお買上げいただきました。お立ち寄りいただいたみなさま、ありがとうございました。



2月18日(日) 京都マラソン2024

京都静岡県人会とともに、京都市内で開催されたマラソン大会の応援活動を行いました。静岡から参加した市民ランナーの中にはこちらの声援に手を振り返してくれる方もいました。



今後の活動予定

新茶キャンペーン(即売会)

新茶の季節に、毎年好評の新茶販売会を静岡県大阪事務所前で、行います。詳細についてはHPやX(旧Twitter)でお知らせします。

